～宮大生のための海外渡航～

台湾夏季中華語・台湾文化研修報告

教育学研究科学部・研究科　学校教育支援学科・課程・専攻　M1 年　（氏名泰　達人）

〇派遣：開南大学

〇派遣期間：　2014 年　8 月　17 日　～　2014 年　9 月　1 日

〇渡航時の学年：　M1 年次

〇渡日前の手続について

・参加に至った経緯について：

台湾の文化に非常に興味があったため。

・渡航に関する手続について：

航空券の手配。

保険の手続き。

・査証取得：

なし

★体験記：

・寮の環境　4 人部屋、風呂・トイレ各階に一カ所。有料洗濯機あり(60 円程度)、Wi-fi あり。

・大学の環境　宮崎大学よりやや大きい。大学内にコンビニあり。レストラン等は歩いて５～１０分くらいのところにある。台北までは１時間半くらいかかる。

・授業内容　ほぼゼロから始める初級とそれ以外の中級以上のクラスがあり、初級は全て英語か中国で行われる。先生も優しく非常に楽しい。

〇生活費：

・渡航費用　福岡→台北(上海経由) 3 万 5 千円程度(往復)

・生活費　2 週間で 2 万円(6,000 元)使用。

〇大学のサポート状況：

日本語を話せる方ばかりで言語の面で困ることはなく、不安などは一切無かった。

〇授業の様子：

ほぼゼロから始める初級とそれ以外の中級以上のクラスがあり、初級は全て英語か中国で行われる。先生は優しく非常に楽しい。台湾人学生がアシスタントとして付いてくれて授業の通訳等をしてくれたため、英語ができない学生も心配する必要はない。

〇他の留学生たちの様子：

全て日本人留学生であり、すぐに打ち解けられた。夜はカードゲームなどをして盛り上がり、非常に愉快な学生ばかりであった。

〇現地学生との交流:
本当に優しく、親身になって助けてくれ、色々な場所に連れていってくれたため、非常に感謝している。日本に対して良い印象を持ってくれているので嬉しかった。

〇街の様子:
開南大学周辺は、あまり栄えていないが、バスで市内まで行けばショッピンモールや繁華街がある。大学周辺には野良犬(比較的大人しい)がいるため犬が苦手な人は注意が必要。狂犬病にも注意が必要。

〇その他:

〇今後、海外渡航を希望する宮大生のみなさんへ
できることなら、中国語を少しは話せるようになっていたほうが研修をより楽しく過ごせる。英語が思ったよりも通じないので中国語を思覚えて行くということが大事になってくるのではと感じた。

份山城
山城
富